

本人も
サポートする方も

安心して使える
キャッシュレスサービス

KAERU



会社概要

- 会社名 : KAERU株式会社
 代表者 : 岡田知拓
 会社設立 : 2020年10月9日
 資本金 : 170,992,383 円(資本準備金含む)
 事業内容 : みまもり機能付き決済サービスの
 開発・運営



受賞歴

東京金融賞
 TOKYO FINANCIAL AWARD



PLUGANDPLAY JAPAN

JAPAN SUMMIT
 Winter/Spring 2022 Batch



自己紹介



KAERU株式会社

代表取締役 CEO

岡田 知拓 Okada Tomohiro

東京農工大学応用生命化学修士卒。

新卒で決済ベンチャーの法人営業・事業開発を担当。海外放浪しながら仕事し、東南アジアのスタートアップにジョイン。その後、日本に戻りLINE株式会社に入社。

LINE Payサービスの立ち上げ初期から、戦略立案から個別のプロダクト企画など、広範にグロースに携わる。

利用者にとって、より付加価値のあるペイメントサービスを創りたいと考え、2020年の10月にKAERU株式会社を創業。

一般社団法人 認知症予防協会 MCI専門士、終活アドバイザー、認知症サポーター、訪問介護の資格を有している。



Net Protections



誰もが買いものを楽しみ続けられる世の中にする

高齢化は日本の大きな社会課題です。

また、高齢化に伴い認知症を発症する人数や、介護を必要とする人が増加しています。多くの方は工夫したり、誰かのサポートを受けながら生活を続けていますが、金銭管理のサポートは現金でしか行われておらず、その受け渡しや確認には手間が発生しています

結果としてお金を持たせてもらえず、自分の意志で自由にお金を使えない人も増えています

買いものという活動は普段当たり前に行っていますが、自由に選択しものを買う、誰かにプレゼントするといったことは人間の尊厳に直結しています。「消費活動として買いものができる」というだけでなく、「自身の選択、そこにある楽しさ」が失われない世の中を創りたいと考えています

我々は、視力が下がったらメガネをかけるように、足腰が弱ったら杖をつくように、認知力が弱ったら「KAERU」を使うことで買いものを楽しみ続けられる、そんな世界を目指しています

変わるお金の在り方

これまで

個人で金銭管理

クレジットカード



コード決済



電子マネー

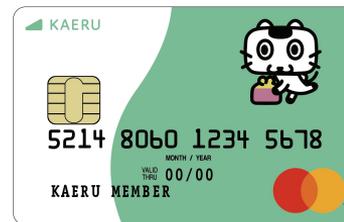


交通系電子マネー



インクルーシブ社会

家族や第三者に
サポートしてもらいながら
金銭管理



KAERU

サービス紹介

本人もその周りの方も安心して使える電子マネーKAERU



使える場所

Mastercardが使えるお店で使えます

キャッシュレスで
小銭の計算不要に



※弊社調べ。店舗によっては使えないケースもございます

チャージ方法

毎日やりくりする金額をアプリで設定できる



紛失時の一時停止機能

紛失時も安心。1タッチでカードを一時停止・再開できる

利用中



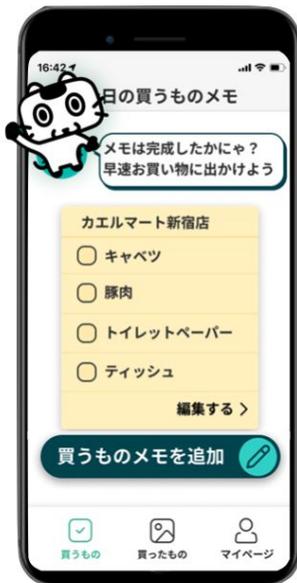
一時停止中



お買いものメモ

位置情報と連携したリマインダーのメモ機能

誰もが使いやすい
フレンドリーデザイン



お店に近づくとも通知
位置情報リマインダー

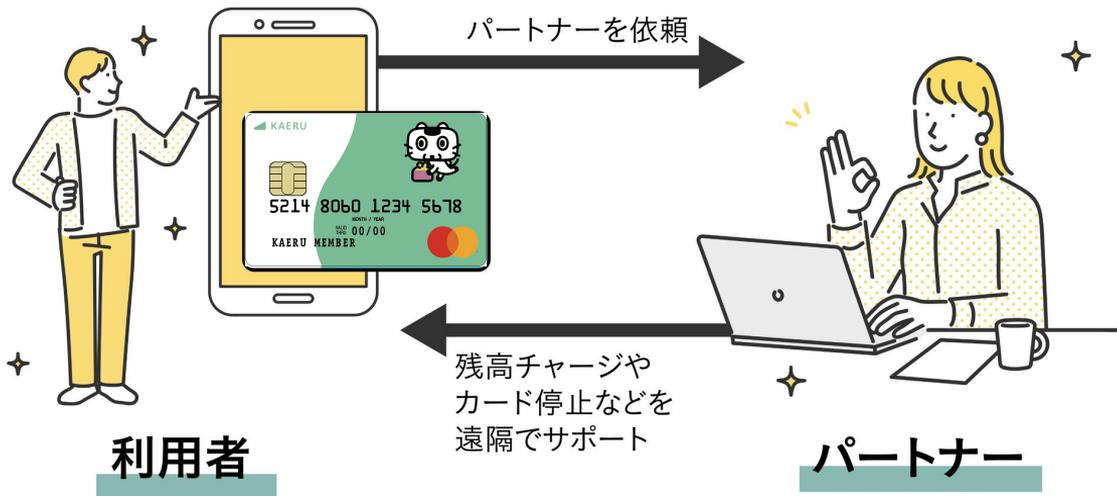


買ったものを写真メモ
二度買い防止



パートナー設定

離れた場所からチャージや利用の確認など遠隔サポート



他、電子マネーとの連携

カードから直接支払い



カードからチャージし支払い

利用できない
直接は利用できない

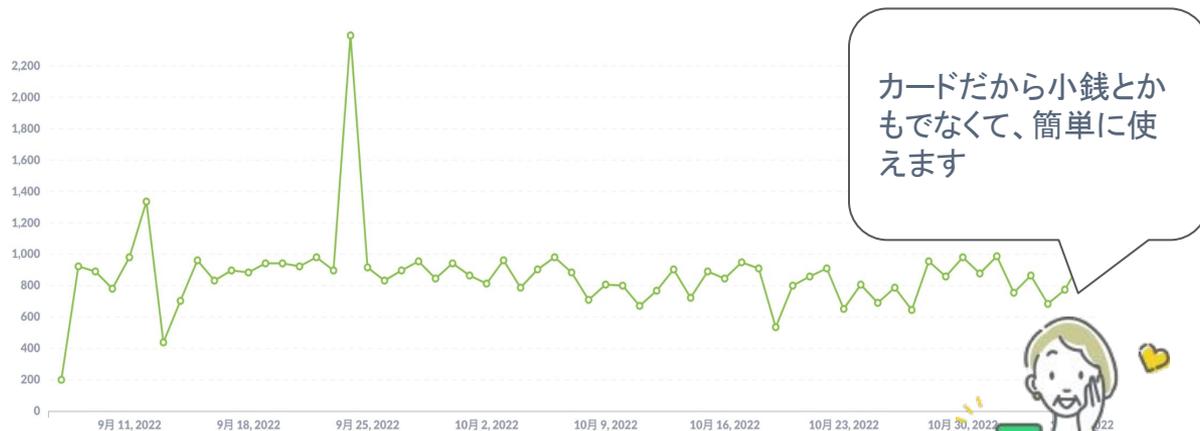
Coke ON

※cokeonはカードで直接決済はできません
が、他のPayを迂回するとできます

利用者の声

家族の負担軽減と共に毎日のカード利用が見守りに

▼ 日毎の決済金額: 初回利用から毎日 1000円程度利用



カードだから小銭とかもでなくて、簡単に使えます

KAERUは上限金額管理と、通院などの突発的な支出に対応できるのでとても良い



60代前半



30代前半

利用者の声

お買い物ものが外出のきっかけに。介護負担軽減にも寄与

自分で自由に利用できるお金があるというのは嬉しい、外に出るきっかけが増えた



90代前半

KAERU



50代前半

母が出かける際、フットワークが軽くなりました。

また、ケアマネージャーの方からも「便利です！」とお声がけいただけしており、距離が縮まったように感じています。お買い物もの同行いただく際の金銭面のやりとりはトラブルも多いと聞きますし、介護従事者さんたちにとっても、きっとご負担の大きいことと思います。

サポートの広がり:福岡県大川市 ボランティアポイント

ボランティアのポイントがKAERUカードにチャージ



OKAWA CITY
大川市

これまで

ボランティアをして
スタンプを貯める

紙の
スタンプカード



デジタル
スタンプカード



今後

スタンプの
交換申請

書類を受け取る



申請は必要なし



出金

銀行振込

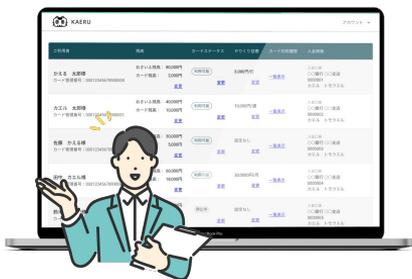


5ポイント貯まったら
チャージ



サポートの広がり: 社会福祉協議会との連携

行政・自治体からの金銭管理支援も展開



エイジテック/フィンテックサービスを提供するKAERU株式会社、大阪府社会福祉協議会と業務連携し、府域での金銭管理支援業務のDX化推進を開始

KAERU株式会社

📅 2023年11月2日 10時30分



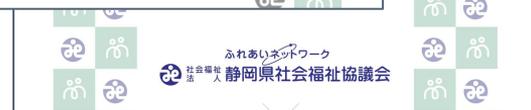
超高齢社会のお買いものをなめらかにするためのエイジテック/フィンテックサービスを提供するKAERU株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役：岡田 知拓、以下 KAERU）は、大阪府社会福祉協議会と業務連携し、大阪府域でのみまもり・金銭管理支援業務のDX化推進を進めていくことお知らせいたします。



社、静岡県社会福祉協議会開始



提供するKAERU株式会社（本と業務連携し、静岡県全域（静知らせいたします。



その他、行政との取り組み

経済産業省との取り組み プレスリリース

お買いものアシスタント機能付きプリペイドカードサービス「KAERU（かえる）」、認知症の方向けのサービス開発における当事者参画型開発モデルの推進に向け経済産業省の取組への参画を開始

KAERU株式会社
2022年5月7日 10時00分

高齢者社会のお買いものを促すためのエイジテック/フィンテックサービスを提供するKAERU株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役：岡田 知広、以下 KAERU）は、認知症の方向けのサービス開発における当事者参画型開発モデル（※）の推進に向け、経済産業省の取組への参画を開始することをお知らせいたします。当取組を通じて、認知症の方がお買いものをはじめとした適切な経済活動をするための社会基盤の構築を目指します。

（※）認知症の方に關する製品・サービス開発において、認知症の方が主体的に企業と「共創」を行い、社会参画機会を伴いながら開発に活かすモデルです。認知症の方が使ひもの、ニーズを反映しているものであることかつ、企業側から見ても一定の需要があり、提供の継続性があるサービスの創出を目指します。



東京金融賞 1位を受賞



厚労省との取り組み プレスリリース

エイジテック/フィンテックサービスのKAERU、認知症介護研究・研修センター研究事業（厚生労働省老健事業）による認知症の人の「希望をかなえるヘルプカード」を開発協力

KAERU株式会社
2022年4月26日 11時00分

高齢者社会のお買いものを促すためのエイジテック/フィンテックサービスを提供するKAERU株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役：岡田 知広、以下 KAERU）は、国が定める認知症施策推進大綱※に即り認知症介護研究・研修センター（以下実証センター）が行った、認知症の人の「希望をかなえるヘルプカード」の開発研究（令和3年度厚生労働省老健事業）に協力し、2022年5月より出カードの周知・利用拡大を推進する取組を実施することをお知らせいたします。

※認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる「共生」を目指し、「認知症/バリアフリー」の取組を進めていくとともに、「共生」の基盤の下、通いの場の拡大など「予備」の取組を前〜丸となって進めていくために令和元年6月に厚生労働省によりまとめられたもの
(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000076236_00002.htm)

・認知症の人の「希望をかなえるヘルプカード」とは 目的・背景



その他、行政との取り組み

地方・地銀と連携した取り組み

奈良・川上村、高齢者の見守り機能付きカード実証実験

地域金融 [+フォローする](#)

2023年10月13日 18:34

保存

あ A 印刷 送信 n 共有



実証実験で協力するKAERUの岡田知拓最高経営責任者（CEO）と川上村の栗山村長、南都銀行の橋本頭取=11日、奈良県川上村役場

持続可能な金融インフラの実現 村民と村外家族のつながり・みまもり





誰もお買い物を楽しみ続けられる世の中にする

